

## 会 議 録

会 議 名	八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 子どもにやさしいまちづくり部会 平成29年度 第6回会議	
日 時	平成29年 11月14日(火) 午後4時15分~5時30分	
場 所	八王子市役所 804 会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、中込順子副部会長、荒井容子委員、石田健太郎委員、岡崎理香委員、後藤高浩委員、田中伸幸委員（部会長、副部会長、以下五十音順）
	関連所管	
	事務局	中正子どものしあわせ課長、渡邊児童青少年課長、大澤課長補佐、後藤主査、井垣主査、下谷主査 他
欠席者氏名	立石晴美委員	
議 題	議事 1 子どもにやさしいまちづくりについて	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	0名	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成30年5月28日 （荒井 容子）	

配付資料

八王子市子どもにやさしいまちづくりについての意見具申

## 【中正子どものしあわせ課長】

出席予定の皆様がお揃いになりましたので始めます。

## 【井上部会長】

今日皆さんに資料としてお示ししているのが意見具申案で、これについて議論していただきます。子どもたちの議論が11月26日にありますので、それと合わせて私たちもまとめ、市制100周年を機に提言をしていきたいと考えています。

まずは意見具申案の内容ですが、1内容として(1)(2)(3)を掲げています。特に大事なのは子どもの参画で、作る過程でも子どもに参画してもらいたいということです。八王子型をどのようにしていくのかという視点でご覧いただければと思います。

2-(1)は子ども参画について育成計画に掲げられており、これを具現化するために条例化してほしいということが書かれています。

それから2-(2)、これまでの実績として市長・教育長への意見発表会を行っており、子ども育成計画にその意見を反映していますが、制度的な仕組みになっていないということをお知らせしました。

2-(3)は、市長がビジョンフォーラムにおいて、「子どもを市民の一員として位置付け、子どもの意見を尊重した取り組みを行い、市民の一員として自らのアイデンティティを築くための機会として、市制100周年記念事業の各フォーラムに子ども参画を行った」ということを表明されています。それを子どもミライフフォーラムにおいて、さらに持続可能な開発のための教育という視点から行っています。その上で、子どもミライフフォーラムに向けて意見の集約をしていますので、その意見に対して八王子市が具体化に取り組む姿勢を示す必要があるということを2-(4)に掲げました。

2-(5)は前回お示ししたユニセフの項目です。これらが子どもにやさしいまちの条件となっています。八王子はやさしいまちの指定を受けられるところまでいっていませんので、これらをクリアしなければならないということです。

2-(6)は、作る段階から子どもたちが参加するということと、条例づくりを通して市民として子どもの育成を図ることが求められていますということです。

3-(1)は、基本理念としてはちっ子ファーストを基にした都市づくりに関わっていくという少子化対策です。子どもに向けた社会資源の開放や子どものための施策など、子どもの未来の構築に向けて、子ども育成計画に示された子どもにやさしいまちを実現するということが条例の中に示していきたいということです。

3- (2) は、論議していただくことを前提に、現段階で子どもたちから示された仕組みをあげました。アスタリスクの部分については、ミライフオーラムに向けて話している内容です。

3- (3) は、中込委員からもご提案いただきましたが、八王子ではすべての児童が参加するという仕組みを作りたいということです。奈良市や札幌市は代表型公募型ですが、八王子型というのは児童会や生徒会含めて、すべての子どもたちが条例づくりに参加します。その中で、将来における人材づくり、都市づくりをやっていく特徴的な条例にしていきたいということです。

3- (4) は、ミライフオーラムの子ども提言を受けて、市制 101 年目の事業としてその意見を実現するため、日程の素案を作ってみました。

まず中身について、1 からいきましょうか。意見具申する内容がこれで良いかどうか、いかがでしょうか。

**【石田委員】**

児童福祉法に規定される自治体の責務を具現化することという文言を入れるのはどうでしょうか。

**【岡崎委員】**

官民の委員に子どもにやさしい法的枠組みを自治体の責務の一つとしてあげているので、そのくらいにするのか、もう少し強い表現にするのか。

**【井上部会長】**

児童福祉法では努力義務であり、条例化しなさいとは書いていない、そこまで自治体に求めているんです。理念は実現する方向で動くかと思いますが、子どもたちの最善の利益を実現することが責務という言い方をしている程度で、条例化しなさいという解釈ができるとは思えない。

**【岡崎委員】**

ユニセフで自治体の責務として掲げていることに関連して、すでに 2- (3) に書いてあることですが、国連が持続可能な開発目標というものを推進していて、その中の一つが教育ということですよ。それが国際的な目標になるわけですから、中核市として子どもの教育、子どもの権利について条例化するというようなことをもう少しプッシュするとアピール度が上がるのではないのでしょうか。

**【井上部会長】**

例えば 2 - (3) を二つに分けるといえるのはどうでしょう。前の三行は、市長がミライフォーラムに向けてこのように取り組んでいますよとおっしゃったことです。後半はグローバルな視点で、ユニセフのやさしいまちづくりというのは ESD (持続可能な開発のための教育) に繋がっていきます。グローバルスタンダードとしての ESD の位置付け、国際的なアピールも含め、当事者が取り組むべきだといったような視点で。

**【石田委員】**

2 - (3) の市長のところ、市長の強いリーダーシップを發揮しながら推進していただきたいといったことを書くのはいかがでしょうか。

**【井上部会長】**

市長のコメントは、市制 100 周年のイベントで終わらせてほしくないという言い方です、書いても良いのかもしれません。市制 100 周年のイベントで終わらせることなく、これからも子どもたちの意見を聞き続ける八王子市であってほしいという書き方なら可能かと思います。

**【田中委員】**

それこそ持続可能なということですね。

**【井上部会長】**

持続可能なまちづくりに子どもの意見を取り入れる仕組みの構築を、ぜひイベントで終わらせることなく継続していただきたい、とはっきり書いた方が良くもしいないですね。

他にはいかがですか。2 - (3) は全面的に書き直しですかね。あれだけ生徒会でやっていたらイベントで終わらせてしまってもったいない。

今、各フォーラムから意見はどのくらい集まっていますか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

要旨が順次公開されているところです。最初に開催したフォーラムは意見がまとまっています。

**【井上部会長】**

11 月 26 日に関連すると思いますので資料提供が必要ですね。そうしないとせっかく生徒会で話し合ったことが活かされなくなってしまう。ユニセフの 8 項目にどのような課題があるか、まちづくり部会でいつから討議を始めたかという資料も必要ですね。

あとはいかがでしょうか。皆さんからも具体的な文章の提案をいただければ、それを

受けて修正していきます。

素案のため最後分科会を1月中に開く必要がありますね。1月でしたら子どもたちの意見もまとまっていますし。

**【事務局】**

11月26日にある程度の概要がまとまります。全体の合意形成を1月28日に行いますが、そこで大きく変わることはないと思います。

**【井上部会長】**

そうしましたら1月の29・30・31日のどこかで分科会を入れていただけますか。そこでフォーラムの中身について皆さんにお願いすることも出てくるかと思います。

**【中正子どものしあわせ課長】**

他のメンバーの予定や会議室等を調整します。

**【井上部会長】**

調整をお願いします。そうしましたら部会をその前に開きたいのですが。

**【中正子どものしあわせ課長】**

分科会と同じ日に先に開くのはいかがでしょうか。

**【井上部会長】**

それがいいですね。それでは、その間に皆さんと意見交換をして、文書の整理をしなければいけません。本日お配りした案を事務局から委員に送り、それを12月25日まで事務局で集約して、私に送ってください。1月初旬に私がまとめ、もう一回事務局に送り返して、1月29日に最終案確定という形でどうでしょうか。委員の皆さんには前回資料や子ども育成計画と合わせて本日の資料を見ていただき、こんな資料をつけた方が良かったといった意見を含めてご意見をいただきたいと思います。今の段階でご意見ありますか。

**【後藤委員】**

子ども条例なので、子ども視点の目的とか理由を一つ入れられませんか。例えば、八王子市民としての愛着を高め、未来の八王子市を担う意識を高めてもらうといった、そんなニュアンスがあると良いなと思いました。

**【岡崎委員】**

子ども育成計画にいくつか柱を入れましたね。それに対応するような形で文章化できると良いですね。

**【後藤委員】**

実務レベルでは、子ども委員会を専門分科会として設置したときに、子どもたちを本  
当に集めることができるのかという不安があります。どこまで関わらせられるのか。

**【井上部課長】**

それはやっていかなければならないことですね。八王子型となると児童会、生徒会、  
教育委員会にもお願いしなければいけません。各学校単位でも議題を投げて、話し合い  
をしてもらうということは大変なことです。中学校は生徒会サミットがありますが、お  
そらく児童会では初めての経験になると思います。そういったことも含めて、仕組みも  
考えないといけない。こういった仕組みでやりますよといったこともご提案いただけれ  
ばと思います。

八王子は市役所を起点とした巡回バスもないため、場所はクリエイトホールが良いで  
すよね。

**【中正子どものしあわせ課長】**

ニュータウン地区ですと、八王子駅に出るのも大変です。

**【事務局】**

子どもたちからは顔を合わせないといけないのかという意見も出ました。ライングル  
ープでやったらどうかとか。

**【岡崎委員】**

スカイプとか。ニュータウン地区と中央部地区の二つに拠点を分けてやるのも良いで  
すね。

**【中正子どものしあわせ課長】**

市役所の会議室には無線 LAN が設置されています。

**【井上部会長】**

新しい参画の仕組みとしては面白い。その時間に開いてもらえれば在宅でもできます。  
やってみる価値はありますよ。市役所まで来てもらうとなると送り迎えが大変ですし。  
市役所で会議のためのパソコンは集められるのでしょうか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

会議室でタブレット端末が使えます。

**【後藤委員】**

うちの子どもたちも関わりたいという子はたくさんいるのですが、物理的に難しいと

いう子が多い。それができればかなり裾野が広がるのではないでしょうか。

**【井上部会長】**

そうすると生徒会の代表も児童会も参加しやすくなると思います。八王子の特性から多くの子が代表になると送迎に対応ができないと思うので良い案ですね。そうしましたら是非意見に入れていただければと思います。他にはありますか。

**【中込副部長】**

初めは小学校の現場でも「これはなんですか」となると思うのですが、やはり小さいうちから八王子のことを考えて、情報を自分たちで発信していくことをやらないと中学校、高校と繋がらないと思うので、やってみたいなと思います。

**【井上部会長】**

これも一つの目標になりませんか。人材育成という意味でも大きな意味を持つと思います。

**【岡崎委員】**

質問ですが、子どもミライフフォーラムのフィナーレの進行はどのような形でしょうか。各フォーラムの子どもたちの意見を集約して発表するのでしょうか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

二部構成となっていて、第二部が市制 100 周年記念事業全体のグランドフィナーレになり、8つのフォーラムで出てきた意見を市長に提出してもらう形になります。

**【岡崎委員】**

8つそれぞれでということでしょうか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

そうです。8つそれぞれの意見を受け取って、来年度以降に各所管が考えていくと形かと思います。

**【岡崎委員】**

フォーラムごとに出した意見をフィナーレで並べるということでしょうか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

もう一度出すということは考えています。子どもたちといろんな分野において議論していただいたものなので、最後に出していこうと。後半のグランドフィナーレについては、中学生による実行委員会を作って、これから決めると聞いています。

**【井上部会長】**

第一部のミライフオーラムとのバランスが難しくありませんか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

一部と二部で場面転換して、最後はみんなで100周年をお祝いしようという形になります。

**【井上部会長】**

市長に意見書は確実にお渡しできるのでしょうか。

**【中正子どものしあわせ課長】**

はい。まとめてグランドフィナーレで渡すようになるのか、途中で渡すのかは今のところ分かりませんが。

**【井上部会長】**

ミライフオーラムの最後にミライフオーラムとしての意見を渡すということはお願いしておいた方が良いでしょうね。

**【岡崎委員】**

「子どもミライ宣言」のような名付けはしないのですか。

**【事務局】**

その宣言を作るために子どもたちが作業をしていて、11月26日は宣言の名称と条文を5つ決めることになっています。

**【井上部会長】**

情報提供は随時お願いします。それでは委員会を終わります。お疲れ様でした。